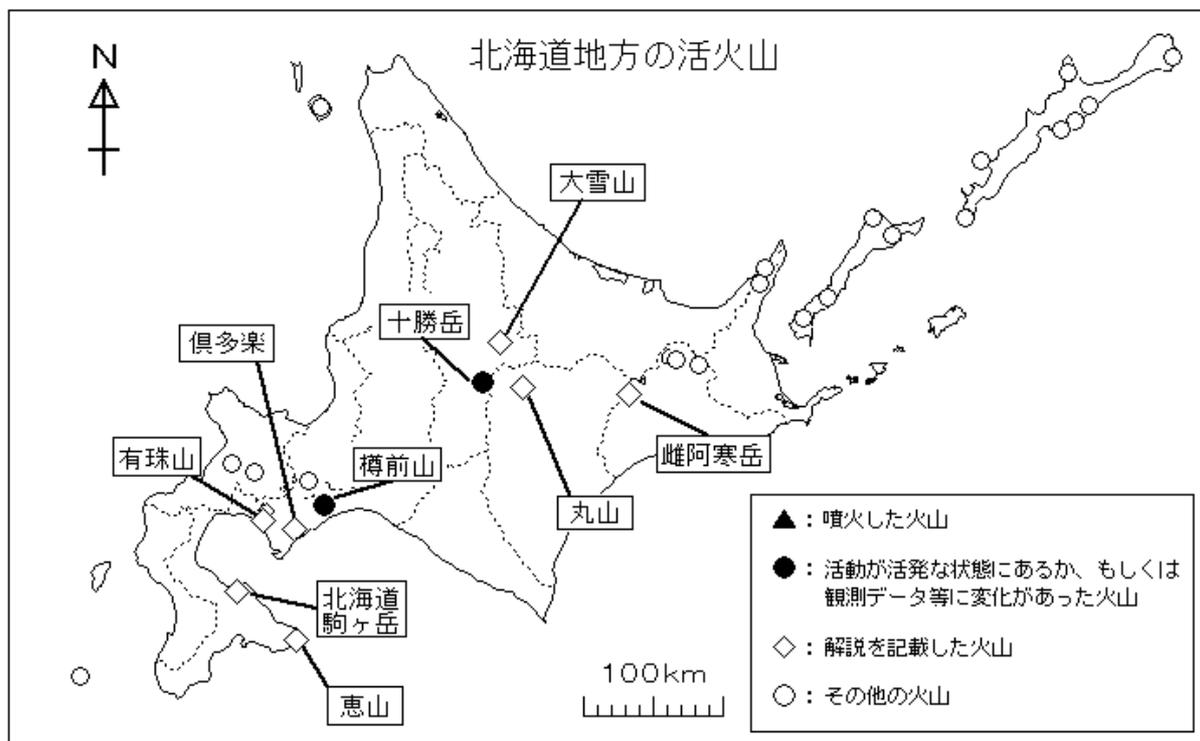


## 北海道地方の火山活動解説資料（平成 17 年 6 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



6月の北海道内の火山活動は先月と比べて変化はなく、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態が続いています。

### 雌阿寒岳（比較的静穏な状況）

6月5～10日にかけて実施した調査観測で高温の状態であったポンマチネシリ96-1火口の温度に低下傾向が認められました。同火口の温度としては平常時のレベルまで下がったと考えられます。地震は少ない状態で経過しており、火山活動は比較的静穏な状態となっています。

### 十勝岳（やや活発な状況）

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いています。28日には振幅の小さな火山性微動が観測されました。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

### 樽前山（やや活発な状況）

A 火口やB 噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

### 有珠山（静穏な状況）

火山活動は静穏な状態が続いています。

### 北海道駒ヶ岳（静穏な状況）

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

### 上空からの観測を実施した火山

#### 【大雪山、丸山、倶多楽、恵山】

北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。これらの火山では、噴気の状態に変化は認められませんでした。